

# 静岡新聞

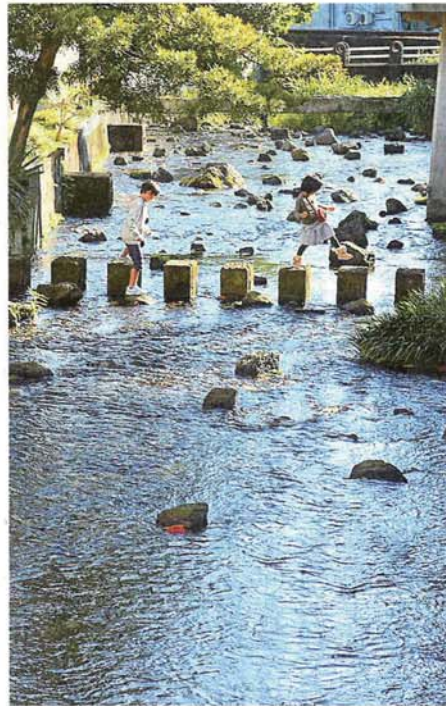
11月9日  
水曜日

## 源兵衛川(三島) 登録決まる

### 世界かんがい遺産

三島市の源兵衛川が「世界かんがい施設遺産」に登録された。タ水委員会(ICID)、本部インド)が建設から100年以上を経過した歴史的価値の高い利水施設を登録する

「世界かんがい施設遺産」に登録された。タ水委員会(ICID)、本部インド)が建設から100年以上を経過した歴史的価値の高い利水施設を登録する



世界かんがい施設遺産に登録された源兵衛川＝3日、三島市内

源兵衛川は16世紀ごろに稲作の拡大に向けて整備され、水深を浅くして水温の上昇を図るなどの工夫が施された。1960年代に都市化の影響で環境が悪化した。90年代に市民や行政が一体となって清流を復活させた。市と、川を管理する中郷用水土地改良区、NPO法人グラウンドワーク三島が連名で2015年に登録を申請。同年の審査は登録が保留されたが、今年改めて審査された。認定を受け豊岡武士市長は「行政による施設整備だけでなく市民の保全活動、農業者の施設維持という『協働』のたまもの。源兵衛川の価値を再認識したい」とコメントした(三島支局・河村英之)。

世界かんがい施設遺産は農業の発展に貢献し、卓越した技術によって歴史や社会的価値を有する水路などを保全する目的で14年に創設された。今回は照井(岩手県一関市など)、内川(宮城県大崎市)など13件も認定された。